

（ビッグデータ・オープンデータの活用－N－7）

川崎市子育て支援アプリ「あさお子育てポータル」 （神奈川県川崎市、富士通株式会社）

〔概要〕

川崎市は、子育てイベントや施設情報など子育て世代に必要な情報を住民にタイムリーに提供できるスマートフォンアプリ「あさお子育てポータル」を整備した。子供の年齢・居住地等の属性情報や位置情報を活用することで利便性を高めており、利用者（住民）、情報提供者（職員）の双方から評価を得ている。

〔コラム〕

（1）サービス・事業の背景、経緯

自治体が提供する数多くの公共情報の中から、住民が自ら子育て関連情報を探し出すことは困難な状況となっており、「必要な子育て関連情報が探しづらい」との声が住民から寄せられていた。また行政側にとっても、多様な団体が様々なイベントを主催しているため、子育てイベント情報の取りまとめ事務が煩雑で、住民にわかりやすく情報提供するために多くの時間を割いている状況であった。

住民への情報発信の在り方や子育て世代への支援拡充などを検討した結果、スマートフォンを活用し、子育てに関する情報を分かりやすく届けることができる子育て支援アプリ「あさお子育てポータル」を構築し、実証することになった。

（2）サービス・事業内容の詳細

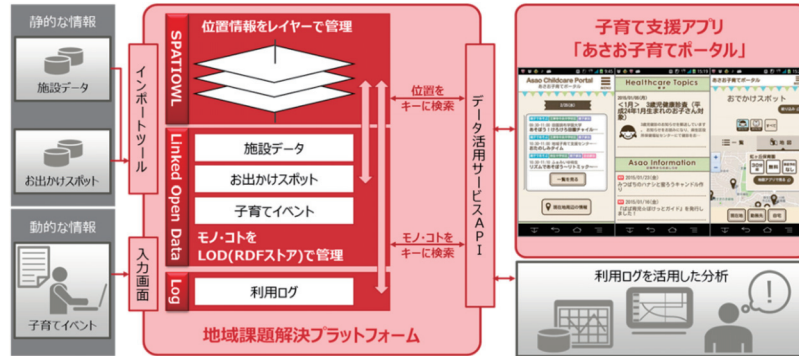
「あさお子育てポータル」を通じて、住民に対して子育てイベント・お出かけスポット・施設等の情報を提供する。データの収集・管理にはクラウド位置情報サービスSPATIOWL（注1）を活用し、オープンデータや位置情報を組み合わせて的確な情報の提供を図っている。

例1）登録した属性情報（子供の年齢等）をもとに、自治体の乳幼児検診などの情報を配信。

例2）子育て支援団体等からの情報も登録し、住民が必要に応じて子育て支援サービスを受けられるように情報を提供。

例3）SPATIOWLに登録された子育て関連設備（授乳やオムツ替えスペースなど）の情報を元に、子どもと一緒に気軽に行けるお出かけスポットの検索サービスを提供。設備の有無による絞り込み、現在地や登録地点から近い順に並び替えた結果表示、お出かけスポットでの関連イベント情報もあわせて提供。

(3) サービスイメージ



(4) サービス・事業の反応

市民モニターへのアンケート調査では、73%が「便利」と評価し、78%が継続利用を希望した。子育て情報へのニーズが特に高い0歳児の親では、

「便利」、「継続利用を希望」と回答した割合がいずれも9割を超え、高い評価を受けた。

また「イベント情報の入手機会が増えた」(66%)、「イベントなど利用回数が増えた」(43%)といった意見も多く、本アプリを通じて子育て支援に関する情報が住民に的確に届き、活用が広がったことが認められた。

川崎市の職員からも、住民サービスの向上や職員の業務軽減につながるとの声が聞かれた。

なお、ICTを活用した地域の課題解決事例として評価され、2015年グッドデザイン賞を受賞した。

市民の評価（モニターアンケート結果）

- 便利と評価 **73%** (0歳児の親は**91%**)
- 継続利用を希望 **78%** (0歳児の親は**94%**)

※アプリモニター353名。アクセスユーザー数は、一日平均で41名、週平均で173名。

(5) 効果と今後の展開

本システムは川崎市麻生区のみでの実証であったが、上記の通り、利用者（住民）、情報提供者（職員）の双方から高い評価を得ている。

普及が進むスマートフォンの活用を前提としていることから、川崎市内の他6区はもとより、他市区町村からも注目されており、各自治体における、子育て環境の整備等を課題とする解決提案のツールとして活用が期待できる。

さらに、本サービスで収集したデータを外部でも活用可能とすることで、住民や企業が地域で役立つアプリの開発・提供が進むことも期待される。

【注釈】

(注1) SPATIOWL（スペーシオウル）：大量の位置情報の統合的な管理・活用、解析を可能とする富士通のクラウドサービス。

【問い合わせ先】

- ・ 富士通株式会社
- ・ 電話番号：0120-933-200 富士通コンタクトライン（総合窓口）